



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第34回例会(4月20日)
平成30年5月11日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内

例 会 場 同上 TEL 019(651)1111(代)

例 会 日 毎週金曜日12時30分～

<http://www.morioka-rc.jp/>

会 長 飯塚 肇

幹 事 星 克彦

会 報 伴 亨

クラブ事務局 TEL 019(653)5682

FAX 019(653)5622

RI会長テーマ ROTARY: MAKING A DIFFERENCE. 'ロータリー: 変化をもたらす'…イアン H.S. ライスリー
盛岡RC会長テーマ — もう一度、奉仕 — 飯塚 肇

新入会員卓話



『「お金」の話』

日本銀行盛岡事務所 事務所長
片桐 宗雄 君

私は、2004年から約3年間、日本銀行の貨幣博物館で仕事をすることがあります。本日は、その経験も踏まえ、「お金」の歴史や、現在注目されている仮想通貨などについて、私見をお話しさせて頂きたいと思います。

人類は、自給自足から物々交換、そして貨幣経済という形で進歩を遂げてきました。人々が「お金」というものを交換の仲立ちとして使うようになったことが人類の経済的発展に大きな役割を果たしたと思います。

人類最古の金属製の「お金」は、西洋では、紀元前7世紀頃の「エレクトロン貨」と言われています。一方、東洋では、紀元前8～3世紀に、「布幣」や「刀幣」と呼ばれる、農具や刀の形をしたものが「お金」の始まりだと言われています。金属以外の「お金」では、紀元前16～8世紀に中国で使われたとされる「貝貨」が有名です。歴史的には、①皆がほしがる、②集めたり、分離するなどして、様々な価格を表現できる、③長期間保存可能、という特徴を有するものが「お金」として使われました。

次に、日本の「お金」の歴史を振り返ります。一昔前は8世紀初頭の「和同開珎」がもっとも古い「お金」と言われていましたが、今では、7世紀後半頃の「富本銭」が日本最古とされています。その後、米や布などの「商品貨幣」が使われた時代もありましたが、12世紀半ば以降は、中国(宋、明)の「お金(渡来銭)」が国内で流通するようになりました。もっとも、これらは、

やがて模造銭が製造され、品質が次第に悪化すると、人々は質の悪い銭貨の受け取りを拒否するようになりました。質の悪い銭貨は「鏹銭」(びたせん)と呼ばれ、「びた一文払わない」という諺の語源になっています。

江戸時代は、「金貨」、「銀貨」、「銭貨(銅貨)」の3種類の「お金」が使われ、それらの交換比率が定められました。因みに、当時、これらの「お金」を製造していた場所は、それぞれ「金座」、「銀座」、「銭座」と呼ばれていましたが、日本銀行の本店は、「金座」の跡に建てられています。

日本で最初の紙幣は、伊勢山田地方で1600年頃に発行された「山田葉書」と言われています。これは、銀貨の釣り銭代わりに発行した預り証です。その後、各藩が「藩札」を発行するようになりました。藩札には、「すかし」、「隠し文字」などの偽造防止策が施されていたものがあり、「陸中盛岡藩札」は、「隠し文字」がある藩札として有名です。

明治になり、新貨条例で「円・銭・厘」という新しい貨幣単位が採用された後、1882年に日本銀行が開業しました。日本銀行の開業当初、日本は「銀本位制」でしたが、1897年に「金本位制」が採用されました。もっとも、1929年に世界恐慌が発生すると、欧米諸国同様、日本も「金本位制」を離脱し、紙幣を金貨や銀貨と交換しない「管理通貨制度」に移行しました。第二次世界大戦後は、国内の猛烈なインフレを抑えるため、預金封鎖や新円切り替えなどを実施し、新円切り替えに

対応した新しい銀行券が発行されました。

このように、使われる「お金」やその制度は、時代によって大きく変化しています。このため、これからも「お金」の制度は、いつかは変わり得るとみておくのが、歴史観としては正しいと思います。

次に、「FinTech」についてお話します。ご存じのとおり、今、中国では街角から現金が消えています。その代わりに「QRコード」が街角に溢れています。個人は、お店が提示する「QRコード」をスマートフォンで読み込み、自分の口座からお店の口座に送金することで財やサービスを購入しています。こうしたモバイル決済サービスを提供する企業は、サービス利用者から収集する様々なデータ（ビッグデータ）を収益源としています。このため、個人やお店は、モバイル決済運営者が提供するプラットフォームや各種サービスを無料もしくは非常に低コストで利用できる仕組みです。

日本も、スマホ世代と呼ばれる若者世代の間では着実にキャッシュレス化が進行しているようで

す。今後、日本でもキャッシュレス化が進んでいく可能性はあると思います。

最後に、「仮想通貨」についてです。昨年は、世界的に「仮想通貨」の一大ブームが起きました。これまで全体で数百億ドル程度しかなかった時価総額が、2017年の末頃には一時8,000億ドルを超える規模にまで膨らみました。もっとも、2018年入り後は調整局面にあります。現在のところ、「仮想通貨」価値保存や投機としての用途が多いようです。このため、これらを「仮想通貨」と呼ぶべきとの意見もあります。

「仮想通貨」の将来がどうなるかは、確たることは言えませんが、貨幣博物館には、「大勢の人が『これはお金だ』と思うものが、その時代、その地域で『お金』として使われてきた」と書かれたパネルがあります。「仮想通貨」が「お金」として広く普及するかどうかは、やはり人々のニーズ次第ということではないでしょうか。

ご清聴ありがとうございました。

例会報告

第34回例会
平成30年4月20日(金)

- 12時30分 開会点鐘
- ・司会 飯塚 肇会長
- ・ロータリーソング（それでこそロータリー）
- ・会長報告 飯塚 肇会長
- ・功労者表彰 西島光茂会員 ベネ

- ファクター
- ・誕生祝 藤田治彦君
 - ・結婚祝 吉田育弘君
 - ・幹事報告 星 克彦幹事

【ニコニコBOX】

- ◆工藤幸一君…4月8日(日)高田松原植樹祭への多数の参加ありがとうございました。社会奉仕委員会として予定になかった突然の事業

でしたが皆様の協力で無事終わる事が出来ましたのでニコニコします。

- メイクアップ
仙台レインボー=橋本君。水沢東R.C.=長澤君。盛岡西R.C.=佐藤(義)君。クラブ委員会=藤村(文)・長谷川(桂)君。

出席報告

会員数/77名

出席数/42名

出席率/59.72%

前々回/82.86%

プログラムのお知らせ

- ・5月11日(金) 青少年育成団体 支援金贈呈式
島山俊樹様・両川いずみ様
(ボランの広場・いわて子育てネット副理事長)
「ボランの広場活動状況/未来に向かって育てね!応援します!」
- 18日(金) 会員卓話 坂本広行会長「戊辰150年・維新150年」
- 25日(金) 会員卓話 齊藤和好会員
- ・6月1日(金) 青少年育成団体 支援金贈呈式
山家理恵様(インクルいわて理事長)
- 8日(金) 会員卓話 飯塚 肇会長

●本号編集担当/作田 尋